

## I 事業の概要（地域の実情含む）

普代小学校では、地域の自然や産業、伝統等について地域の人々と関わりながら学ぶことで、地域に対する親しみや誇りを持ち、復興に向けて努力する人々への思いを深める子どもの育成を目指している。

交流学习を実施した5年生は、前学年で普代水門や防潮堤の学習を行い、震災から地域を守った施設や当時の人々の働きについて理解を深めた。今年度は、地域の主産業である漁業や地域の人々が大切にしている伝統芸能「鶺鴒神楽」について学んできた。一戸小学校との交流では、新たな視点で地域を見つめ、地域の自然・文化についての理解や誇りを深めるために、地域の人々の復興への取組や、地域の伝統や自然について紹介する活動や震災について学ぶ活動に取り組んだ。

## II 取組の概要

### (1) 交流会の実施

#### ア 各校の紹介（伝統芸能などの紹介）

- ・それぞれの学校紹介の後、一戸小学校が「よっちよれ」、普代小学校が「鶺鴒神楽」を発表した。



【「鶺鴒神楽」の発表】

#### イ 交流タイム

- ・グループごとに「ふだい夢つなぎカルタ」（普代の自然や文化を紹介したカルタ）を使った交流を行った。一戸小学校の児童からの質問に普代小学校児童が答えるなどの交流が見られた。



【「ふだい夢つなぎカルタ」で交流】

### (2) 交流給食

- ・グループごとに普代の特産物である鮭やすき昆布を使用した給食を食べながら交流を行った。一戸小の児童からは「見たことがない献立で驚いた。」という感想が寄せられた。

### (3) 震災学習列車乗車

- ・三陸鉄道震災学習列車（三陸鉄道北リアス線普代駅～久慈駅）に乗車し、震災時の様子について説明を受けたり、復興の様子を見学したりした。震災当時小学校5年生だった三陸鉄道の社員の方に説明いただき、当時の小学生の避難の様子や震災前と震災後の野田村の写真から、児童は震災の被害の大きさを実感していた。



【震災学習列車に乗車する児童】



【震災学習列車車内で黙とうをささげる児童】

### (4) 子どもの感想

#### ア 普代小学校

- ・震災学習列車に乗って、震災の時の写真を見せてもらいました。緑や家がたくさんあった場所が、平らになっていて、家の破片などがたくさん落ちていました。説明してくれた方

は、「津波には立ち向かえない。」と言っていました。改めて津波が来た時に高い所に逃げたり、家族で話し合ったりしておかなきゃいけないんだなあ、と思いました。

- ・「ふだい夢つなぎカルタ」では、一戸小学校の人たちが楽しそうにしていたのでよかったです。カルタの時間がまだあったらよかったのになあ、と思いました。司会をしたので、少し緊張したけれど、一戸小学校の人たちが喜んでくれてよかったです。震災列車では、普代のことなど知らなかったことも知れたので勉強になりました。また一戸小学校の人たちと交流会をして、まだ話していない人とも話したいです。
- ・津波の時の小学校の給食が牛乳とパンだけでびっくりしました。そんな時は給食があまり出なかったんだなあと思いました。そんな時はお腹が空かないのかなあと思いました。次はぼくたちが一戸に行きたいなあと思いました。
- ・学校の紹介で、普代小学校は鶺鴒神楽を紹介しました。一戸小学校は「よっちょれ」という踊りを紹介してくれました。一戸小の良いところがわかりました。ふだい夢つなぎカルタをとるのが楽しかったです。三陸鉄道に乗って、震災のことを教えてもらいました。地震が起きて、車が止まったことや山田さんの話を聞きました。山田さんの話では、地震が起きてどんなことが起きたのかが聞けたので勉強になりました。震災後の野田の写真をしてみると、震災の前と後の写真がすごく違ってびっくりしました。

#### イ 一戸小学校

- ・普代小学校の給食がおいしかったです。あと、「ふだい夢つなぎカルタ」は普代村にあるものがいっぱいあって楽しかったです。
- ・「ふだい夢つなぎカルタ」をしたら、普代のことがよく分かりました。神楽も普代にはこんな踊りがあるんだなあと思いました。とても楽しかったです。
- ・「鶺鴒神楽」がかっこよかったです。私たちが踊った「よっちょれ」はどうでしたか。「ふだい夢つなぎカルタ」、楽しかったです。給食もおいしかったです。今度は一戸にも来てください。
- ・「ふだい夢つなぎカルタ」で、普代の良いことを知ることができて、とても楽しかったです。

給食も一戸とは違う献立でした。おいしかったです。

- ・鶺鴒神楽がよかったです。御所野のことをしっかり伝えられているといいです。  
(一戸小学校児童から普代小学校児童への手紙より抜粋)



【ふだい夢つなぎカルタ】

### Ⅲ 取組の成果と課題

#### 1 成果

- ・一戸小学校に地域について紹介する活動を通し、自分たちの地域の伝統芸能や自然、文化について見つめ直し、理解を深めることができた。
- ・自分たちの地域の震災や復興について関心をいただき、理解を深めようとする他地域の小学生と交流をもったことにより、地域の震災の被害や地域を守った施設への理解と地域の復興のために力を尽くしている人たちへの関心や誇りを高めることができた。
- ・一戸小学校の児童が、地域にある「御所野遺跡」の世界遺産登録に向け、主体的に広報活動に取り組んでいる様子を見近で見たことで、地域のよさを発信する新たな視点を得ることができた。

#### 2 課題

- ・年間行事計画決定後に本事業に取り組んだため、日程調整が難しかった。活動の充実を図るために、前年度末には活動の概要を決定したい。
- ・予定より一つ一つの活動に時間がかかり、余裕をもって交流することができなかった。ねらいを焦点化し、活動内容を更に精選する必要がある。